

地域の縁がわ名

清藤クリニック 待合室カフェ

団体名	医療法人清藤クリニック	地域の縁がわ所在地	〒861-8001 熊本市北区武蔵ヶ丘四丁目10番14号
問い合わせ先	TEL：096-223-5373 FAX：096-223-5345	HPアドレス	https://www.facebook.com/KiyofujiClinic
開設日時等	毎週	毎月	第4金曜日 14時00分～16時00分 (主催者の都合により、他の週の金曜日に変更になる場合があります)
主な利用者	子ども(乳幼児・小学生・高校生) 高齢者 認知症の方 (障がい者 その他) クリニックの患者様ではなくてもご利用いただけます)		

活動内容

【5つ星プロジェクトに関する取組み】

A 見守り活動 B 配食・会食サービス
C 買い物支援 D 健康づくり
E 学びの縁がわ

F 地域ふれあいホーム
(制度外の宿泊)

◆具体的な活動内容

月一回、地域に待合室を解放して、カフェ活動を行っています。毎月、下方に記したような、日常生活に役立つ知識を学べるような時間も設けていますが、それ以外の時間は、好きなように過ごしていただけます。書道、絵画(絵の具、クレヨン、色鉛筆)、編み物、手芸、ゲーム(オセロ、ジェンガ、将棋、カルタなど)など、また、在宅医療を受けておられる方々のためのメッセージカードづくりなどを行うことができます。毎年年末には一緒に、待合室に設置するクリスマスツリーの飾りつけをしたりもしています。これらの作業を一緒にしながら、他愛もない雑談やおしゃべりを楽しんでいます。参加された方々が役割を發揮していただけるようにしており、書道が得意な方、編み物が得意な方、それぞれに先生をお願いして指導をしてもらっています。また「ハーモニカを吹いてみたいけどいいですか?」とご自身のリハビリの成果をカフェで毎月披露して下さる方もおられ、カフェの最後は歌で締めくくっています。「集まることが大事」と毎月参加をすることが自分の役割と、必ず参加して下さっている方もおられます。このように、それぞれが、このカフェの場を利用して、やりがい、生きがいを感じることができたらいいなと考えて活動を続けています。クリニックのスタッフも、カフェの企画を考えることにやりがいを感じており、おかげでモチベーションがあがりちなみに、カフェで使用している物品は、購入する金銭的余裕はありませんので、患者様方のご自宅でご不要になったものをいただいて再利用しています。

※5つ星プロジェクトに関する取組み

【A 見守り活動】地域には一人暮らしで、身近にご親族もおられず、町内などでの活動には参加されておられず、周囲とのつながりの希薄な方がおられます。また、認知症があるにもかかわらず介護保険によるサービス利用などの受け入れができていない方もおられます。カフェ活動を通じて、そのような方々の見守りを行っています。

【B 配食・会食サービス】一緒にお茶を飲んで語り合えるようにしています。時期によっては、甘酒を提供したり、さくら茶をお出ししてみたり、季節感を意識しています。また、社会就労センター「ライン工房」のクッキーやパンの販売も行っています。

【C 買い物支援】菊陽町にはレターバスがあるにも関わらず、その存在は浸透しておらず、利用されている方は一部の方に限られている印象があります。これまで乗車した

ことのない方々とともに、年に一回、一緒にバスに乗るというツアーをおこない菊陽町総合交流ターミナル「さんふれあ」を訪れる取り組みを昨年から行っています。

【D 健康づくり】カフェ活動の中で、リハビリの先生にお願いをして体操を行う試みも行っています。また食事について、管理栄養士さんによる減塩についての話、夏の時期には脱水症、冬の時期には感染症など、健康づくりに役立つ知識を持ち帰っていただいています。それ以外に、書道や手芸などの、参加された方が興味をもたれている作業をしていただくことで、楽しい時間を過ごしていただき、心が癒やされるような時間も設けています。

【E 学びの縁がわ】上記の講話以外にも、「おむつカフェ」と称して排泄ケアに関する勉強会を行い、おむつフitterさんによるお話や実際に様々な種類のおむつを見たり触ってみる勉強会をしています。また、年に一回は院長による、在宅医療についての説明、「エンディングノート」の紹介を通じて、人生の終末期に対する心づもりについて、いまのうちから考えておいていただけるような取り組みを行っています。

【活動のきっかけ】

がんの患者様などの語り合いの場を必要とする方々が集える場所を意識して、平成 24 年秋クリニック開業にあたり、待合室を、病院らしくない場所、カフェ風にデザインしました。開業当初は経営的、またスタッフ雇用の面での不安定さがありまして、活動に踏み切れませんでした。熊本地震が起きて、外来診療の中で、地域には気持ちの辛さを抱えた方々が沢山おられることを改めて感じ、診療時間以外で、その気持ちをゆっくりと聴かせていただける場所、地域の方々にとっては安心して吐き出すことができる場所が必要であると強く感じて、今回のカフェ活動を、毎月定期的に開催していくことを決意しました。

●地域の縁がわからメッセージ

当院は、地域の方々とのつながりを大切にしたいと考えているクリニックですが、熊本地震がおきた平成 28 年の秋から、待合室を開放して「カフェ」を開催しています。病気や体のことはもちろん、私達と気楽におしゃべりを楽しみましょう。また、このカフェを通じて、参加された同士がゆるやかにつながることができたり、皆様にとって生きがいを感じていただける、そんな場になればいいなと思っています。

縁がわを始めた時期は：平成 28 年 9 月～